



同窓会報

No.13

平成28年
8月1日発行

岩手県立一関第二高等学校同窓会

(旧一関高女・旧市立女子高・旧一関二高・旧一関農高)

〒021-0041 岩手県一関市赤荻字野中23番地1 一関二高同窓会事務局 印刷所 コンカツ印刷(有)
TEL. 0191-25-2242 FAX. 0191-25-5432 (職員室) URL. <http://sekinidosokai.com/>



『♪さわやかな～朝もやの中を～♪皆さん、こんにちは！ オペラユニット「レジェンド」のメンバー菅原浩史です。』

昨年まで一関コミュニティFMあすものパーソナリティーを務めていた本校同窓生、菅原浩史さんが今年6月一関文化センターで凱旋コンサートを開いた。年間100本のコンサートをこなすという異色の男性5人組オペラ歌手ユニット「LEGEND (レジェンド)」の結成10周年記念コンサートには、地元ファンはもちろんのこと北海道～九州まで全国から熱狂的なファンが訪れると言う。メンバー全員が国立音楽大学出身者であり、高い音楽性はもちろん、ピアニストまで皆好男子♡合間の絶妙なトークで会場は「ブラボー」の歓声の渦となる。都会で疲れた心を癒しに帰郷することが楽しみという菅原さんのソロパートから始まる「ふるさとは今もかわらず」男声ならではの魅力ある朗々と響き渡るバスバリトン、さながら彼を生み育んだ川崎町を滔々と流れる北上川の如く郷愁を誘い、ふるさとへの熱い思いが伝わり、観客も感極まります。

高校時代は、卓球部に所属。文化祭では歌唱力を買われバンドのボーカルを頼まれたがkeyが高くて断念(笑)。後に音楽の道と進むきっかけとなる「母からもらった三大テノール歌手のCD」を日々聞き、テノール歌手を目指すのがkeyはどんどん低くなり断念(涙)。ミュージカル俳優も考えたが「踊れないし(笑)」と「菅原浩史バスバリトンまでの道のり」を熱く語り、大船渡線通学の辛かった思い出など取材した20も年上の私と共通の話題で盛り上がった。

彼の才能とひたむきな姿勢は、将来オペラ界を牽引する存在になるだろう。ふるさとの夜空いっぱい咲き広がる大輪の花火のごとく、その歌声が大きく花開くことを期待する。機会があれば彼の出演するイタリアオペラ全幕を堪能したいと思う。

そこでお知らせです。日本クラシック音楽界の殿堂サントリーホールでの「LEGEND (レジェンド)」コンサートが9月5日に行われますので、是非お出かけ下さい。一目?耳で彼らのパフォーマンスに魅了されることまちがいないです!

LEGEND 菅原浩史



オペラユニット「レジェンド」

2006年、オペラや合唱で活躍する国立音楽大学出身の5人の男性オペラ歌手が一堂に会し、「一夜限りの伝説のコンサートをやろう!」とLEGEND (レジェンド)を結成。その一夜限りのはずのコンサートが「クラシックコンサートの常識を覆すステージだった」とクチコミで広まり、2007年から本格的に活動を開始する。男性オペラ歌手5人だけのダイナミックな五重唱と娯楽の高いステージパフォーマンスで、クラシックファンのみならず、新時代のクラシックエンターテインメントとして人気を集めている。



PROFILE

菅原 浩史 すがわら ひろし
本校平成11年卒業。国立音楽大学声楽科首席卒業、同大学院修了。「フィガロの結婚」「カルメン」など多くのオペラに出演。2006年オペラユニット「LEGEND (レジェンド)」を結成、コンサートのかたわら昨年10月迄1年間、一関コミュニティFMあすも「菅原浩史のMr.ホームシッククラシック」のラジオパーソナリティを務める。一関市川崎町出身



ご挨拶

同窓会長 梶山 隆

同窓会会員の皆様には、常日頃より同窓会活動に御協力を頂き感謝を申し上げます。

平成28年度定期総会を6月25日(土)に「厳美溪温泉いつくし園」で開催し、事業報告・決算及び事業計画・予算等について承認を受けました。また、役員改選が行われ創立110周年を迎えるにあたり現役員で成功させてほしいという意見があり再任されました。今年度は、新入会員数名の参加もあり今後も若年層の参加を増やして行けるよう考えていきたいと思っています。総会終了後の懇親会前には、アトラクションとして太鼓道場の迫力のある演奏に、参加者からは盛大な拍手と感嘆の声が聞こえました。演奏も同窓生の前での初めての演奏ということで一段と気合いが入ったように見え、今後も機会があれば披露してもらいたいと考えております。

来年迎える110周年記念事業実施に向けては、同

窓会・PTA・学校の三者での記念事業実行委員会を立ち上げ準備を進めているところです。

創立110周年を迎えるにあたり今年と来年の同窓会報を会員全員に発送し、同窓会活動にご理解をいただければと考えております。一関二高も明治40年(1907年)に郡立西磐井女子職業学校として創立されて以来、同窓生も29,000名余りとなりました。現在の同窓会運営は在校生からの会費及び新入会員からの入会金で運営しており、会員が増える中で会員の皆様からの同窓会活動協力金を募り、同窓会運営及び在校生に対する部活動補助を行っていきたいと考えております。

今後も同窓生が各分野で活躍され、先輩諸氏を目標としながら躍進されますようお願いしております。今後とも同窓会への御指導・御支援宜しくお願い致します。



ご挨拶

校長 及川 晃行

本校同窓の皆様には日頃より教育活動の振興にご理解、ご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

本校は、明治40年創立以来、まもなく110年の歴史を刻もうとしています。まさに地域に有為な人材を数多く輩出してきた伝統校であります。

昨年度は創立110周年記念事業実行委員会を立ち上げていただき、同窓会、PTA、学校が一体となってこの節目を向かえることといたしました。現在は平成29年5月13日(土)の記念式典、29年度内での記念事業や記念小史の発行などに向け、各委員会における検討を進めさせていただいておりますことをまずもってご報告いたします。

また、皆様ご案内のとおり、平成27年度末には岩手県教育委員会の新たな県立高校再編計画において本校は平成30年度から1学級減の対象校となり、総合学科校としての系列の充実と見直しも求められているところであります。

創立以来、分離・独立など幾多の変遷を経ながらも平成16年4月に総合学科「新一関第二高等学校」として開校し、幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能であり、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視することや将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視すること等を模索し続けて参りました。

本校110年の歴史は常に社会の変化や地域の要請に機敏に対応し、自主の心、意志の力、創造の意欲をもって今日に至っております。

今後においても本校建学の精神である職業・実科の教育を根底に、新進の総合学科高校として生徒一人一人の夢や希望を大切に、地域の人材育成の要請に応えるためにも、更なる歴史を刻んで参ることが本校に課せられた使命であると考えております。

どうか同窓生の皆様にも本校教育活動に対し、これまで以上の支援を賜りますようお願い申し上げます。会報発行に当たってのご挨拶といたします。

平成 28 年 度 総 会

一関の誇る名勝厳美溪、溪流せせらぐかの地、厳美溪温泉いつくし園において平成28年6月25日(土)今年度の総会が開催されました。一ノ関駅から西へと赴く会場までの道すがらかつての学び舎である一関二高本校舎、旧一関農高現清水農場、清明支援学校)の前を歩いてこられた方も多かったのではないのでしょうか。当時の通学の記憶等思い出されたことかと思えます。当日は梅雨の時期とあって初め生憎の雨模様でしたが、受付が始まるころには晴れ間も差し、久しぶりの再会に心踊らす同窓生方の想いを受け取ったかのようでした。総会参加者は70名とほぼ例年通りの人数となりましたが、昨年の参加者が無く課題であった新会員の参加について、3名の出席をいただき幅広い世代の出席が得られ、その中で議事運営出来たことは同窓会活動への理解を深めることだけでなく今後の同窓会活動の継承と発展に繋がる良い機会であったと感じます。来年度に向け事務局としてさらに多くの方々にご出席いただけるよう工夫してまいりたいと考えます。

総会に先立ち本会員の物故者に黙祷が捧げられ、槻山隆会長、及川晃行校長のあいさつ後、議長選出においては事務局一任の声により本年の当番幹事より佐藤一也さん(昭和54年卒)ならびに三浦幸治さん(平成元年卒)のお二人が選出され、議事録署名人を佐々木雅則さん(昭和54年卒)、柴田清志さん(平成元年卒)に委嘱し、議事進行が行われました。議案については概ね事務局提案の通り承認されましたが、事務局から今年度の予

算について創立110周年記念事業に向けての増額や取り組みに必要な予算配分および支出状況精査による項目の見直しについて説明がありました。会場からはいくつかの質問や意見がありましたが、環境整備費を事業費に統合する案に対し盛岡支部事務局長より「お金を扱う以上、趣旨や用途について明確にすべき」とのご意見をいただき、事務局として今後検討し項目を含め細目等で判りやすく提示する等することといたしました。また、今年度役員改選に伴う議案については、昭和44年卒千葉さんより「現職役員はいずれも創立110周年記念事業に向け既に多方面にて役職を伴う関係役員として動いている。そのため来年度に向けスムーズに運営してゆくためにも現体制を維持し、今後とも活躍いただけるよう再任を希望する。」との意見が出され、会場の拍手と共に満場一致で全員の再任が決定しました。その他、学校より音楽部ならびに太鼓道場部の定期公演の案内や文化祭を含む学校公開についての紹介と、事務局より創立110周年記念式典に向けての現状を説明し閉会となりました。

今年度は新会員の参加をはじめ、遠くは愛知からの参加をいただき色々な意味で幅広い交流の場となりました。本校同窓生人数はまもなく3万人に達しようとしております。来年は創立110周年記念の年でもありますので次回の総会へ向け更なる参加者の拡充と盛況の場となりますよう事務局一同努力いたします。皆様のご協力と貴重なご意見をお寄せいただければ幸いです。

同窓会役員

(H28.29)

支部役員一覧

役職名	氏 名	卒 業	役職名	氏 名	卒 業
会 長	槻 山 隆	農高S45卒	仙 台 支 部 長	伊 藤 善 雄	二高S42卒
副 会 長	鈴 木 信 子	二高S42卒	仙 台 支 部 事 務 局 長	猪 股 恭 四	二高S48卒
	千 葉 弘 毅	二高S45卒	盛 岡 支 部 長	相 原 栄 司	二高S35卒
	伊 藤 晋	二高S54卒	盛 岡 支 部 事 務 局 長	阿 部 俊 雄	二高S42卒
	石 川 聖 浩	農高S60卒	関 東 支 部 長	吉 廣 克 之	二高S34卒
監 事	阿 部 元 男	二高S42卒	関 東 支 部 事 務 局 長	曾 部 篤 治	二高S44卒
	木 村 孝 男	農高S44卒	千 厩 支 部 長	熊 谷 清 子	高女S20卒
	佐 藤 裕 一	二高S53卒	千 厩 支 部 事 務 局 長	永 沢 孝 子	高女S24卒

懇親会の様子

平成28年6月25日(土)－巖美溪温泉 いくし園にて同窓会総会後に行われた懇親会では、来賓の皆様をはじめ、役員や会員、当番幹事の方々と合わせて多数の参加がありました。遠くは、長野県や愛知県から駆け付けてくれた卒業生の方。また、平成27年度卒業の新会員の方に3名参加していただきました。

懇親会は、二高在校生・太鼓道場部部員による演舞から始まり、太鼓による圧倒的な音量、音圧、体に伝わる振動。部員によるパフォーマンス等に出席者全員が魅了されました。その後、演舞による興奮も冷めやらぬまま懇親会は続き、大変な盛り上がりを見せ、太鼓の演舞について話す人、久しぶりの再会を喜ぶ人、思い出話に花を咲かせる人、二高のこれからを話す人、年代を越えての交流を楽しむ人、皆さん様々な形で親睦を深め、楽しんでおられました。

新会員の3名も最初は初めての場に緊張している様でしたが、余興の「二高・同窓生に関するクイズ大会」などを通し先輩OB・OGの方々と交流し、楽しそうにしている様子が見受けられました。

二高は来年、平成29年に創立110周年を迎えます。今回の総会では創立110周年に向けての話合いもし、懇親会でも話題に上がっていました。今回の総会・懇親会を経て、今後に向けてのモチベーションも高くなったと思われます。今後も活動していきますので、今回残念ながら参加することが出来なかった方、参加を迷っている若い年代の方、今までよりも、もっと多くの方々の参加を心待ちにしております。

最後になりましたが、今回の総会・懇親会にご協力くださった方々、参加していただいた方々に感謝申し上げます。



二高54年同期会

来年110周年を迎えるという私たちの母校。同窓会総会・懇親会アトラクションの二高太鼓道場部の皆さんのライブは、爽やかな笑顔と躍動感にあふれていました。

思い出すのは、優しい先生方や楽しい友人に囲まれて自由を謳歌していた幸福な高校時代。卒業して何年経ってもその頃のキラキラした思い出は私たちの心の糧となっています。在校生の皆さんにはこれからいろんなことがあるだろうけれど、凛々しく乗り越えてほしいと切に思います。

さて、私たち二高54年卒の同期会は、鈴木公子先生、中浜清輝先生、五日市正光先生、佐藤玲子先生にご出席いただき、70名超の参加者で大盛会となりました。

先生方のますます若々しいお姿には驚くしかありません。私共の小野寺修一幹事長が挨拶にて恩師先生を妖怪呼ばわりしており誠に失礼いたしました。卒業37年、10年前よりさらに疲弊気味?の私たちは、多趣味で素敵な日々の暮らしを満喫されている先生方の

昭和54年3月卒 小野寺 聡 子

お話からたくさんのパワーをいただきました。

記念品贈呈・乾杯の音頭のあとは、皆さんの近況&昔話等々(▶[近]愛知県在住。大学から新体操を始め、現在はフェアリージャパンのメンバーを擁する、みなみ新体操クラブの講師をしています。▶[近]愛知県(!)から車を運転して来ました。駄菓子屋水都軒を経営し、大家族のゴッドマザーをしています。▶[昔]かくれて免許取得したバイクに2人乗りして、中浜先生のサニーを追い越してしまいました♪/以下、暴露大会につき割愛)、衝撃的な報告が相次ぎました。

次に、大畑(佐々木)真寿美さん製作・監修の懐かしの写真オンパレードのスライドショーであつという間に3時間が過ぎ、大変盛り上がったまま校歌斉唱・万歳三唱でお開きとなりました。あとは2次会へと流れたり、早くも来年のクラス会の約束をして、三々五々、帰途に就きました。

最後になりましたが、幹事の皆さんの見事なチームワークで素晴らしい同期会を楽しませていただきましたこと、心より感謝申し上げます。



二高平成元年同期会

平成元年3月卒 澤田直哉

同窓会、総会のあとに平成元年卒の同期会をいつくし園で開催しました。

川口征雄先生、村田美加江先生の2名の恩師にもお越しいただき、遠くは長野、東京、近くは巖美からの20名の同級生が集まりました。卒業後28年経ちましたが、大きく変化を遂げた方もなく無事受付を済ませることができました。

芸達者より口達者が多く、余興など披露するまでもなく、卒業アルバムをめくりながら懐かしい顔や思い出があふれ出してきて、話が尽きませんでした。この会には2組の同級生夫婦が参加してくれましたが卒業後の再会で結ばれたという、二高生の絆はやはり強かったという証です。

昔と変わらないレンズの川口先生から初めての「女クラ」話、こちらも昔のままのドレッシーな装いの村田ティーチャーは、現在筋トレ脳トレで若さを維持しているという話など、楽しいお話を聞かせて頂きました。

久々に先生のお話を真剣に聞き入ってしまいました

がこの立派な聞く姿勢、高校時代にできていたらどんな将来になっていたことでしょうか。

この会には先生方をたくさんお呼びしたかったのですが、菊地盛司先生、佐々木光昭先生、井上薫先生が鬼籍に入っており、とても残念です。

最後に、相変わらずの日焼け顔で、声が大きくリーダーシップのある三浦幸治君は、同窓会総会の議事進行役、懇親会での開会閉会の言葉を述べる大役を当番副幹事長として無事勤めあげました。

そして、相変わらずグチをこぼしながらもコツコツとやり遂げる千葉智洋君は、「いつくし園」営業課長として、昨年から事務局の先生方や当番幹事の方と打ち合わせを重ね、さらに同期へのハガキ作成発送など、大変な業務を担ってくれました。準備に奔走していただき、感謝いたします。

平成元年卒のみなさん、これを機に10年後の同期会を盛大に迎えるためにも、少しでも繋がりを持ち続けていき、より多くの参加者で盛大にやりましょう。



帯が語る生き抜く力

関東支部 支部会計補佐 対馬（千篠）桂子

（昭和47年3月普通卒）



平成27年度、関東支部総会&懇親会が10月3日（土）例年どおり東京大手町サンケイプラザにて開催されました。

吉廣克之支部長（昭和34土卒）の開会挨拶から始まり、須川岳を思い出させる様な槻山隆同窓会会長の故郷便り、そして佐々木啓学校長より高校の現況報告等がございました。この後に“我が人生を語る”と題して、警視庁OBの菊地輝夫氏（昭和27年農卒—平成20年春の叙勲授与）の記念講話があり、出席者一同聞き入りました。今回は86名の出席者があり、その中でも平成26・27年卒の会員が8名とその旧担任の先生方4名の出席に若さと華やぎを添えてくれました。

懇親会では、岩手弁を語ろう会(?) 森下みさ子

会長（昭41普卒）のスピーチで盛り上がり、卒業年度別の記念写真撮影や一関特産品が当たるビンゴゲーム抽選会そして恒例の須川音頭輪踊りを全員で楽しみました。和服姿の会員が年々増えてはその帯に人生を感じ涙が止まらなかったのが本音です。

母校は平成29年創立110周年を迎えるにあたり、関東支部会員有志一同による寄付金70,501円を佐々木啓校長へ手渡し致しました。ご報告申し上げます。

次回（平成28年）開催は9月24日（土）になります。これからもいろいろな思いが味わえる同窓会に出席し皆様と絆を深めたいです。



今年度の総会のご案内

関東支部 総会・懇親会

- ◎日時：平成28年9月24日（土）
13:00～16:30（受付12:00～）
- ◎会場：大手町サンケイプラザ3階
（東京サンケイビル内）
千代田区大手町1-7-2
TEL 03-3273-2258
- ◎会費：8,000円（当日会場にて承ります）
※平成27・28年3月卒の方は会費無料です。
- ◎お問い合わせ・その他
TEL/FAX 04-2923-5496
関東支部事務局長 曾部 篤治（S44普卒）

平成27年度仙台支部総会・懇親会開催

支部事務局長 猪股 恭 四

(昭和48年3月普通卒)



平成27年10月23日、パレスへいあんにて、支部総会・懇親会が開催されました。

同窓会から槻山会長はじめ3名、学校から太田副校長はじめ3名の出席を賜り、総勢24名の会となりました。例年、新卒者の参加がたくさんありましたが、今年は学校行事等で都合がつかない方が多く、参加はありませんでした。開催時期等の検討が必要と感じました。

総会におきまして、槻山会長より同窓会の現状、間もなく迎える110周年事業等についての報告を頂戴いたしました。太田副校長からは、就職率や進学率、地域にとどまらずネットを通じて外国との交流等も行われていること、また、各部活動の活躍等を「二高ブランドの継承」という言葉とともにお話しを頂戴いたしました。

伊藤支部長の挨拶に先立ち、亡くなられた会員の方々に対して黙祷をささげました。

伊藤支部長からは、今回、会員の参加は少なく残念でしたが、返信にあたって多数の方から近況等のコメントを寄せていただいたことは、事務局としては心強く思うとともに、何らかの工夫が必要と思っている旨のお話がありました。

懇親会は、最年長の佐藤仁様の乾杯のご発声により始まり、和気あいあいの歓談で進みまし

た。途中、各テーブルから代表1名の方から現況、現職時代等お話をいただく時間を設け、大いに語っていただきました。時間切れの場面もあり？

まだまだ熱い気持ちを持ち続けておられる先輩方に脱帽でした。

続いて、アトラクションとして一関の隣町築館出身のプロマジシャン ササキシヤさんによるマジックショーです。助手付きの本格マジックで不思議な世界、不思議な体験をしました。

話が尽きない中、いよいよ中締め時間が近づいたところで、お約束の昭和38年卒の佐々木義勝様の応援団手ぶりによる、校歌斉唱です。中締めのご発声は、昭和48年卒の茂庭真一様により、威勢のいい三本締めでお開きとなりました。

来年の再会を語りながら会場を後にして、近くの国分町に足を向けた方々もおられるようでした。

事務局としては、多くの会員の参加がうれしいです。知人、友人をご紹介お願いします。

今年度の総会のご案内

仙台支部 総会・懇親会

◎日時：平成28年10月21日(金)
18:30～(受付18:00～)

◎会場：パレスへいあん
仙台市青葉区本町1-2-2
TEL 022-265-5111

◎会費：5,000円(当日会場にて承ります)
※平成27・28年3月卒の方は会費無料です。

◎お問い合わせ・その他

仙 台 支 部 長 伊 藤 善 雄 (S42普卒)
TEL 022-358-7628

仙 台 支 部 事 務 局 長 猪 股 恭 四 (S48普卒)
TEL 022-379-6414

平成27年度盛岡支部総会・懇親会開催

支部事務局長 阿部 俊 雄

(昭和42年3月卒)



当支部総会は10月24日(土)秋の暖かな日ではいろいろなスポーツを楽しみたい一日であったのですが、そんななか盛岡市のホテルニューカーリーナに多数の会員を迎え今年度の盛岡支部総会・懇親会を開催されました。参加者は昭和27年卒から平成27年卒まで幅広い年代の方々38名でした。

総会は例年と同じように支部長あいさつから始まって会長・校長のあいさつ、会長あいさつの中では再来年二高が創立110周年を迎える準備に入っているとのことでした、校長あいさつでは学校の様子が詳しく語られ在校生の様子を知ることが出来ました、在校生には二高で卒業してよかったと思えるような高校生活を送ってほしいと思って聞いておりました。そして議事に入り事務局が提案した議案につきましては皆さんの承認をいただきました。総会終了後写真撮影を行った後懇親会に入り和やかな懇談することが出来ました。

懇親会では参加者から短い時間で自己紹介をしていただきながら在校当時の思い出等を語っていただきました、参加者の中には時間内で思い出を語りつくせない方もおり事務局としては申し訳ない気持ちでした。いろいろな話を聞いていますと今の二高があるのはその時代時代に活躍された同窓生に皆さんの頑張りのうえに成り立っていることが知ることが出来ました、その点私は何をしたのだろうかと考えてみましたが浮かんできませんでしたので単に在校していたと思ひ反省させられました。

その後カラオケに移って皆さんに自慢ののどを披露していただきました、懐かしい歌・新しい歌、歌っていただいた参加者が十八番としている曲なので聞き入ってしまいました、しかし時間の経過が早いもので多くのリクエストをいただきましたが全員の希望に答えられなくて残念に思います。リクエストいただきました方には大変申し訳ありませんでした。

最後が全員で「花は咲く」「校歌」を熱唱したあと今年卒業した会員の音頭でエールを送って終了しました。参加していただいた会員の皆様、来賓としてきていただきました同窓会・学校関係者の皆様本当にありがとうございました。

今年も支部会員約600名に案内状を発送いたしました、約40%の会員から返信をいただきました、そこに近況が綴られておりましたがご自身の体調不良で参加できない方・ご家族の介護をされていて参加できない方・仕事の都合で参加できない方等ございました、そんな中でもいつかは参加したいと考えている方もおりましたのでその方々のためにも当支部が存続して行かなければと感じております。

最後にあらためて今年度の盛岡支部総会・懇親会の開催にご協力くださった方々、そして参加していただいた方々に感謝申し上げます。

今年度の総会のご案内

盛岡支部 総会・懇親会

- ◎日時：平成28年10月15日(土)
12:00～(受付11:30～)
- ◎会場：ホテルニューカーリーナ
岩手県盛岡市菜園2-3-7
TEL 019-625-2226
- ◎会費：4,000円(当日会場にて承ります)
※平成27・28年3月卒の方は会費無料です。
- ◎お問い合わせ・その他
TEL 019-635-1592
盛岡支部事務局長 阿部 俊 雄 (S42普卒)

卒業生の進路 (合格者数)

平成28年3月31日現在

平成28年3月 卒業生進路別合格者(延べ人数)

進	国公立大学	私立大学	国公立短期大学
	15	104	10
学	私立短期大学	看護・医療系専門学校	専門学校
	25	50	52
就	公務員	一般企業	福祉関係
	19	22	12

《進学》

〔国公立大学〕

室蘭工業大学(1)、弘前大学(1)、岩手大学(1)、岩手県立大学(7)、釧路公立大学(1)、青森県立保健大学(1)、青森公立大学(2)、名寄市立大学(1)

〔私立大学〕

いわき明星大学(2)、ノースアジア大学(1)、亜細亜大学(1)、関東学院大学(1)、岩手医科大学(2)、宮城学院女子大学(5)、弘前学院大学(1)、国際医療福祉大学(1)、国士館大学(1)、桜美林大学(1)、秋田看護福祉大学(2)、淑徳大学(1)、尚絅学院大学(2)、昭和音楽大学(1)、城西大学(1)、神奈川工科大学(5)、神奈川大学(1)、諏訪東京理科大学(1)、盛岡大学(5)、石巻専修大学(3)、千葉科学大学(1)、大東文化大学(3)、拓殖大学(1)、帝京科学大学(1)、東京工科大学(1)、東京農業大学(1)、東北学院大学(6)、東北学院大学(5)、東北芸術工科大学(3)、東北工業大学(4)、東北生活文化大学(1)、東北福祉大学(22)、東北文化学園大学(3)、二松学舎大学(1)、日本大学(4)、日本文化大学(2)、八戸工業大学(2)、平成国際大学(1)、北海学園大学(1)、麻布大学(1)、立正大学(1)、麗澤大学(1)

〔国公立短期大学〕

会津大学短期大学部(3)、岩手県立大学盛岡短期大学部(1)、岩手県立大学宮古短期大学部(1)、山形県立米沢女子短期大学(4)、大月市立大月短期大学(1)

〔私立短期大学〕

一関修紅短期大学(6)、岩手看護短期大学(1)、盛岡大学短期大学部(3)、聖和学園短期大学(1)、仙台青葉学院短期大学(1)、大垣女子短期大学(1)、大阪芸術大学短期大学部(1)、東北生活文化短期大学(1)

〔看護・医療系専門学校〕

一関高等看護学院(6)、花巻高等看護学校(5)、岩手看護専門学校(1)、気仙沼病院附属看護専門学校(6)、亀田医療技術専門学校(1)、宮古高等看護学院(4)、公立岩瀬病院附属高等看護学院(1)、国際医療福祉専門学校(2)、国際医療福祉専門学校(2)、水沢学苑看護専門学校(4)、盛岡看護医療大学(1)、聖マリアンナ大附属看護(1)、石巻赤十字看護専門学校(1)、仙台医療センター附属仙台看護助産学校(1)、東北文化学園専門学校(3)、

東北保健医療専門学校(2)、日大医学部附属看護専門学校(1)、磐城共立高等看護学院(1)、ポラリス保健看護学院(1)、一関看護高等専修学校(2)、大崎市医師会附属看護学校(1)、石巻市医師会附属看護学校(1)、仙台市医師会看護専門学校(1)、盛岡市医師会附属盛岡看護学院(1)

〔専門学校〕

アニマルインターカレッジ(3)、デジタルアーツ仙台(1)、岩手県立農業大学校(1)、岩手県立産業技術短期大学校(1)、宮城調理製菓専門学校(1)、高山美容専門学校(1)、国際ビジネスマルチ専門学校(1)、上野法律ビジネス専門学校(2)、盛岡公務員法律専門学校(3)、仙台こども専門学校(1)、仙台医療福祉専門学校(4)、仙台工科専門学校(1)、仙台接骨医療専門学校(1)、仙台大原簿記情報公務員専門学校(1)、仙台大原簿記情報公務員専門学校(2)、仙台美容美容専門学校(5)、ESPミュージカルアカデミー(1)、専門学校デジタルアーツ仙台(2)、専門学校花壇自動車大学校(1)、大原簿記会計情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校(1)、東京栄養食糧専門学校(1)、東京総合美容専門学校(1)、東京法律専門学校(1)、東日本デザイン&コンピューター専門学校(1)、東北ヘアモード学院(2)、東北愛犬専門学校(1)、東北職業能力開発大学校(2)、東北文化学園専門学校(1)、日本外国語専門学校(1)、日本工学院専門学校(1)、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ(4)、北上コンピュータアカデミー(1)、河合塾仙台校(1)

《就職》

〔公務員〕

国家公務員(2)、岩手県職員(1)、宮城県職員(1)、一関市職員(1)、自衛隊一般曹候補生(7)、自衛官候補生(7)

〔一般企業〕

有限会社加賀調剤薬局(1)、イワニチ高速オフセット印刷株式会社(1)、株式会社佐原(1)、川嶋印刷株式会社(1)、一関信用金庫(1)、株式会社長島製作所(1)、いわて平泉農業協同組合(1)、株式会社長島製作所(1)、日本端子株式会社花泉工場(1)、株式会社LIXIL製作所(1)、株式会社富士通ゼネラルエレクトロニクス(1)、株式会社トヨタレンタリース岩手(1)、株式会社アスター ホテル紫苑(1)、株式会社ホテルアンドリゾート(1)、プリヂェストンタイヤ岩手販売株式会社(1)、株式会社天乃屋岩手工場(1)、株式会社カネボウ化粧品東北支社岩手支店(1)、東京急行電鉄株式会社(1)、小田急電鉄株式会社(1)、センコーエーラインアマン株式会社(1)、株式会社はとバス(1)、日本レストランシステム株式会社(1)

〔福祉関係〕

社会福祉法人川崎寿松会(1)、社会福祉法人つくし会明生園(5)、社会福祉法人つくし会明生園(2)、社会福祉法人幸得会(1)、社会福祉法人岩手福寿会(1)、社会福祉法人衣川会(1)、社会福祉法人白寿会(1)

同窓会入会式の様子

平成28年3月1日本校大講義室において平成27年度同窓会入会式が挙行されました。234名の卒業生を代表し小原^{たかき}貴生君と小野^{みなも}寺水萌さんが学年理事となりました。

皆さんの同窓会への入会を心から歓迎するとともに、これからのご活躍を祈念いたします。



同窓会活動協力金について

現在、同窓会の運営は在校生からの会費と新入会員からの入会金でまかなわれており、今後進む少子化（平成30年1学級減）と同窓会会員数が2万9千人を超えている現在、在校生の夢を応援する同窓会本来の活動資金と同窓会会報を印刷発送する原資の不足が懸念されております。110周年を迎えるにあたり、在校生の夢と同窓会活動を応援する「活動協力金」として1口3000円の協力をお願いする運びとなりました。

なお、協力いただいた方へは120周年までの10年間同窓会報を送付させていただき、同窓会の活動を報告させていただきます。

何卒ご理解を賜りますようご協力のほどよろしくお願いいたします。

創立110周年記念事業について

来年度創立110周年を迎えるにあたり、平成29年5月13日（土）に記念式典を予定しております。現在、実行委員会ならびに各専門委員会にて準備を進めているところですので、詳細が決定しましたらお知らせいたします。

平成28年度 一関二高同窓会年間行事計画

平成28年	
4月7日(休)	入学式
8日(金)	同窓会会計監査(本校)
19日(火)	同窓会第1回常任理事会(本校) 24名
20日(水)	同窓会総会・懇親会第3回当番幹事打ち合わせ会(一関市民センター) 20名
14日(休)~ 26日(火)	創立110周年記念事業実行委員会第2回専門委員会(各専門部毎)
5月11日(水)	創立110周年記念事業第2回実行委員会(古戦場)
15日(日)	開校記念日
23日(月)	同窓会理事会(本校)
25日(水)	同窓会総会・懇親会第4回当番幹事打ち合わせ会(一関市民センター)
6月25日(土)	同窓会総会・懇親会 (厳美溪温泉いづくし園) 当番幹事 昭和54年・平成元年3月卒
8月上旬	同窓会報No.13発行
27日(土)~ 28日(日)	二高祭
8月中	創立110周年記念事業第3回実行委員会(未定)
9月中旬	同窓会総会・懇親会当番幹事引継ぎ会(未定) H28年度当番幹事 (昭和54年・平成元年3月卒) H29年度当番幹事 (昭和55年・平成2年3月卒)
9月24日(土)	同窓会関東支部総会・懇親会 (大手町サンケイプラザ)
10月15日(土)	同窓会盛岡支部総会・懇親会 (ホテルニューカーリーナ)
21日(金)	同窓会仙台支部総会・懇親会 (パレスへいあん)
平成29年	
2月上旬	同窓会常任理事会(本校)
3月1日(水)	同窓会表彰・入会式
2日(木)	卒業式
6月24日(土)	同窓会総会・懇親会(未定)

平成29年度 総会・懇親会のご案内

日 時 平成29年6月24日(土) 午後2時~
(予定)
会 場 (未定)
当番幹事 昭和55年3月卒 平成2年3月卒
会 費 4,000円(予定)

※平成28・29年3月卒の方は会費無料です。

編集後記

同窓会報を作るに当たって、巻頭の記事は時の編集委員の工夫と生みの苦しみを味わうところです。

昨年はY編集委員が最後の最後まで東奔西走し、やっと印刷に間に合わせることができました。今年は、新加入のO編集委員の人脈の広さに負う所が大きく、早めの記事づくりができ、ホッとしました。

来年(平成29年)は一関二高創立110周年の節目の時を迎えます。このことを記念し、同窓会活動にご協力頂いた方々には向う10年間、同窓会報をお届けするとのこと。

水戸黄門の印籠の様に、お約束の項目が並ぶ会報ではありますが、使用する写真やレイアウト、巻頭を飾る記事に創意工夫を重ね、読みやすくお徳のある紙面づくりに努めたいと考えております。

そのためにも同窓生皆様のご協力、特に「活躍する同窓生」の情報は紙面にとって欠かせません。ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

(公)

編集委員	編集委員長	佐藤 公基
	副編集委員長	須藤 光子
	編集委員	菅原 隆
	//	槻山 隆幸
	//	大畑 真寿美
	//	吉田 一博
	//	長洞 義一